

グループ討論の実践法とセブンステップガイド

志向倫理的素養を涵養するために

関西大学 化学生命工学部
生命・生物工学科

片倉啓雄

katakura@kansai-u.ac.jp

予防倫理

- ~するべからず
- 個人の行動の是非を教える倫理
- 前慣習レベル
- トップダウン
- ルールに従う
- 座学中心
- 非難する
- 妥協・二者択一

志向倫理

- すべきこと為したいこと
- プロ(社会人)としての行動を考えさせる倫理
- 脱慣習レベル
- ボトムアップ
- ルールを提案する
- **グループ討議**
- **批判(助言)する**
- **創造的第三案**

志向倫理： オリジナリティ・創造性を重視する科学者・研究者・技術者に必要な倫理

グループ討論の実践法とセブンステップガイド

- グループディスカッションでの留意点
- セブンステップガイド
- 参考
 - 線引き法（より客観的に倫理判断する手法）
 - 出向者制度（一班8人でも活発に議論させる工夫）
 - 学生に積極的に議論させるための布石

グループディスカッションでの留意点(1)

- 意義を説明し、理解してもらう
 - ・ 価値の多様性に気づく機会になる
 - ・ 多様な視点からアプローチできる
- 二者択一や妥協ではなく創造的第三案を目指す
- 批判はポジティブな行動であることを説明し、理解してもらう
 - 批判 物事に検討を加えて、判定・評価すること
ある主張の限界を明らかにすること
 - 非難 人の欠点や過失などを取り上げて責めること
主張そのものを否定すること

- | | |
|--|---------|
| • あなたは幼稚だ | 非難 |
| • その考えは幼稚だ | 非難と取る人も |
| • その考えは〇〇の場合には成立しない | 批判 |
| • その考えは〇〇の場合には成立しないので、
こう考えてはどうか・・・ | より良い批判 |

グループディスカッションでの留意点(2)

Q. 正解は何ですか？

A. 正解に近づこうとする過程に意義があり、正解を出すことが目的ではありません。考える事、視野を広げることが目的です。

- ほんの少し状況が変わるだけで正解が異なる場合も
- 同じ状況はないので正解を覚えても役に立たない
 - × たまたま知識があり正解した
 - × 正解することを目的にネットで調べた
 - ◎ 色々考えたがその中に正解はなかった
 - ◎ 気づかなかった点を指摘され視野が広がった

Q. 状況が特定できないので答えられません。

A. 足りない仮定は自分で補いましょう。

- 実社会では仮定が全て与えられることはない
(仮定が全て与えられ正解があるのは教科書と入試だけ)
- 自分で調べる・仮定する
- 何通りか場合分けして考える

グループディスカッションでの留意点(3)

- **組織・社会として時間をかけて対応すべきことと、当事者自身が現状においてどう行動するかを明確に分けて議論する。**
 - ・ボスの態度、行政の怠慢、法の不備を嘆くことが目的ではない
 - ・その状況で何とかするにはどうすれば良いかを考える

----- (技術者倫理のGDの場合) -----

- あなた自身に何ができるか考えて下さい。
 - ・あなたの権限と能力の範囲でできることをまず考える。
 - ・権限を超える範囲なら、誰にどう提案・説得するかを考える。
- あなた自身が主体になって実行できる案ですか？
- 発生する費用は、誰とどのように交渉・説得して調達しますか？
- 組織の外と折衝する場合、誰に了解を得ますか？
- 議論を深める必要はあるが、意見をまとめる必要はありません。
 - ・限られた情報で結論を出すことは不可能
 - ・複数の意見を併記してよい
 - ・自分で状況設定を何通りか考えることも必要

グループ討論の実践法とセブンステップガイド

- グループディスカッションでの留意点
- セブンステップガイド
- 参考
 - 線引き法（より客観的に倫理判断する手法）
 - 出向者制度（一班8人でも活発に議論させる工夫）
 - 学生に積極的に議論させるための布石

セブン・ステップ・ガイド

Step 1 問題を言葉にしてみる

Step 2 事実関係を明確にする

Step 3 関連する要素, 人物, 法律などを挙げる

Step 4 とりうる行動を具体的に考え列挙する

Step 5 行動案を検討する

Step 6 意思決定をする

Step 7 1～6のステップを再検討する

イリノイ工科大学マイケル・デイビス教授が開発した, 倫理的問題状況の分析・意思決定のための代表的モデル

Step 1 問題を言葉にしてみる

- 何に困っているのか、言葉にしてみる
- 複合的な問題を単純に分解してみる
- 言葉で表現することにより、自分自身で問題を意識する。
- 誰にどんな不都合・不利益が生じるのか書き出す。
- 問題を複雑に捉えるのではなく、要素に分解してシンプルに捉える。
- 一つの文では一つの問題を扱う(一文一意)。

Step 2 事実関係を明確にし、問題を特定する

- 問題に関連する事実を言葉にする
 - 事実、伝聞、推定を明確に区別する
 - 伝聞の場合、確度を確認する
 - 推定の場合、根拠を明確にする
 - はっきりしている事実と予測される可能性とを区別
 - 可能性については確率を意識する
 - 確定している要素と情報収集が必要な要素を区別
- 問題を引き起こしている要因を分類・分析する。
 - 人的・組織的要因か、法・制度上の要因か技術的要因か、経済的要因か・・・
 - 何を前提としているのか
 - 前提がはっきりしない部分は調べる
 - 調べてもわからない場合は何通りか仮定してみる
 - 自分でその要因を排除できる(権限がある)か、他の人(組織)が関わるべきか、組織を超える問題かを区別する

Step 3 関連する人物・法律・価値・制約を挙げる

- 誰が関わってくるのか、利害関係者を明らかにする
 - ・ 研究室メンバー、所属組織、その分野の研究者、科学者
 - ・ 家族、学生、患者、利用者、市民
 - ・ 直接の利害関係者だけでなく周囲にいる人にも
 - 関連する法令、倫理綱領等について列挙する
 - ・ 直接関係するものがなければ、類似の状況に適用できる法律・条例・指針の趣旨(序文)を参照する。
 - どのような価値問題や制約が関わっているのか考える
 - 論文 論文数、IF、著者の順序、競争、データの見栄え...
 - 地位 ポジション、昇進、任期、名声...
 - 資金 研究費(外部資金)、配分、利益相反、雇用維持...
 - その他 期日、手間...
- ✓ すべての責任を引き受けようとするのではなく、誰に対して、どのような責任を負っているのか意識する

Step 4 とりうる行動を具体的に考え列挙する

- 評価は後回しにして思いつく限りの行動案を挙げる
 - 前提を外した場合を考えてみる
 - 抽象的な表現ではなく、具体的な行動案で「周囲と相談する」ではなく「〇〇さんに△△について確認する(依頼する)」
 - 部署や組織としての行動案には、多くの場合あなたに権限はないので、誰に**どう働きかけるのか**を具体的に述べる
- 列挙された対応策がどのような価値を守り、どのような価値を犠牲にするのか考える
- できるだけ多くの価値を守れる対応策を考える
 - どちらを取るかではなく、価値対立そのものを解消する策がないか検討する。(創造的第三案)

Step 5 行動案を検討する

倫理的に許容できるかを確認する

- 可逆性テスト
 - ・その行動の影響を受ける立場に立った時にも同意できるか。
(影響を受ける立場は様々であることに注意)
(例 不正の影響は部署、組織全体、関連会社・団体・・・にも)
- 世間体テスト
 - ・対応策が公になっても問題ないか。
家族、同僚、友人、上司に知られた時は？
マスメディアに報道された時は？
- 普遍化テスト
 - ・あらゆる人が似た状況で同じ対応をとることを容認できるか。
(「この場合に限り」は多くの場合、普遍化できない)
- 危害性テスト
 - ・他の行動案と比べて危害の発生が少ないか。
(その行動案で新たな不都合が発生しないかも含めて考える)

Step 6 意思決定する

- 時系列で並べてみる。
 - まず、「今」、「自分たちが」行うべき策を検討する。
 - その策で解決できない問題を明らかにし、残った問題に対する策を考える。
-
- ✓ 問題を全て解決できない場合、優先順位を意識して意思決定し、より望ましい判断を行う。
 - ✓ Step5で明らかになった問題点を解消する方法を考える。例えば、複数の案の組み合わせによって解消できないかを考える。
 - ✓ Step4と併せ、解決すべき問題(課題)の明確化を繰り返し考える。

Step 7 Step1～6を再検討する

- 選択の妥当性を再検討し、見落としがないかどうかを改めてチェックする。
- 全ての責任を引き受けようとするのではなく、自分は誰に対してどのような責任を負っているのかを意識する。
- 社会・組織としての課題(実現すべき状況や解決すべき社会問題)とあなたの具体的行動とを区別する。
- 今、自分がなすべきことと、今後、望まれる行動とを区別する。
- 類似の問題が発生を防ぐための改善案を挙げる

模擬事例

教授に組換え大腸菌の培養液が入ったフラスコを洗っておいて、と言われた。組換え生物は「遺伝子組換え生物等規制法」で拡散防止が義務付けられおり、滅菌してからでないとは廃棄できない。研究室では滅菌に蒸気滅菌器を用いているが、折悪しく使用中で、次に使えるのは1時間後。30分後にはバイトの予定があるので、と言うと教授は「実質的に無害だからそのまま流して洗えば間に合う」という。

- あなたは？
- A. そのまま流して洗う。
 - B. 滅菌するためバイトに遅れて行く。
 - C. それ以外(具体的に)。

Step 1 問題を言葉にしてみる

- 何に困っているのか、一文一意で言葉にしてみる
 - 複合的な問題を単純に分解してみる
-
- フラスコを滅菌してから洗うとバイトに間に合わない。
 - 滅菌せずに洗うと法令に違反する。

Step 2 事実関係を明確にし、問題を特定する

- 問題に関連する事実を言葉にする
- 問題を引き起こしている要因を考えてみる
 - そのまま流せば法令に違反する(事実)
 - 教授の指示は法令に違反している(事実)
 - バイトの時間が迫っている(事実)
 - 滅菌してから洗うとバイトに間に合わない(推定)
 - バイトに遅れることはできない(推定・伝聞)
 - バイトに遅れるとバイト先に迷惑がかかる(推定・伝聞)
 - 教授の指示に従う必要がある(推定)

Step 1 と明確に区別できなくてもよい

Step 3 関連する要素, 人物, 法律等を挙げる

- 誰が関わってくるのか, 利害関係者を明らかにする
- 関連する法令, 倫理綱領等について列挙する
- どのような価値問題や制約が関わっているのか考える

利害関係者

教授、自分、研究室の他のメンバー、大学関係者、
バイト先、周辺住民、下水が流れていく先の住民、...

関連する法令, 倫理綱領等

遺伝子組換え生物等規制法

第二種使用なので拡散防止措置が必要

価値問題や制約

コンプライアンス(法令遵守)、教員としての規範、
大学の信用、周辺住民の安全・安心、...

Step 1～3は区別せず同時に行ってもよい

Step 4 とりうる行動を具体的に考え列挙する

- 評価は後回しにして思いつく限りの行動案を挙げる
- 列挙された対応策がどのような価値を守り, どのような価値を犠牲にするのか考える
- できるだけ多くの価値を守れる対応策を考える
 - 他の学生に頼む
 - 遅れてよいかバイト先に聞いてみる
 - 翌朝滅菌してから洗う
 - エタノールや次亜塩素酸で滅菌してから洗う
 - 教授を説得する
 - 教授の行為を告発する

創造的第三案

Step 5, 6 行動案の検討と意思決定

- 危害性テスト 他の行動案と比べて危害の発生が少ないか。
可逆性テスト 影響を受ける立場に立った時にも同意できるか。
世間体テスト 対応策が公になっても問題ないか。
普遍化テスト あらゆる人が同じ対応をとることを容認できるか。

	危害性	可逆性	世間体	普遍化	備考
他の学生に頼む	○	○	○	○	頼める人がいない場合は？
翌朝滅菌してから洗う	○	○	○	△	フラスコを占有する 洗い物がたまる
短時間で行える別の方法で滅菌する	○?	○?	○?	○?	その方法できちんと滅菌できるのか？
教授を説得する	○	○	△	△	教授が聞く耳を持たない場合は？ 意見できない性格の人は？
教授の行為を告発する	×	—	—	—	そもそもフラスコはどうするのか

⇒ まず他の学生を探し、誰もいなければ翌朝滅菌してから洗う。

グループ討論の実践法とセブンステップガイド

- グループディスカッションでの留意点
- セブンステップガイド
- 参考
 - 線引き法(より客観的に倫理判断する手法)
 - 出向者制度(一班8人でも活発に議論させる工夫)
 - 学生に積極的に議論させるための布石

線引き法(1)

1. 類似のケースをいくつか考え、そのうちの2つは、明らかに倫理的に問題があるケースと問題がないケースにしておく。
2. 倫理的な問題が大きいものから順に並べ、問題となるケースがどこに位置するかを考える。
3. 周囲の事例と比べて、そのケースが社会的に受け入れ可能であるかを判断する。

ある会社で、納品された品物の検品を担当しているA氏の趣味はゴルフである。休日にゴルフの練習場からの帰りに喫茶店に入ったら、隣のテーブルに偶然、買い物帰りのB氏がいた。B氏は普段からA氏の会社に物品を納入している業者で、やはりゴルフが好きだということで、しばらくゴルフ談義に花を咲かせた。喫茶店を出るとき、B氏はA氏のコーヒー代をまとめて払い、店から領収書をもらった。

線引き法(2)

- ① 便宜を図る見返りとして現金をもらった。
- ② 便宜を期待して料亭で接待してくれた。
- ③ 昼食をごちそうになった。
- ④ 事務所で出前のコーヒーを取ってくれた。
プライベートでコーヒーをご馳走になった。
- ⑤ 事務所でお茶をごちそうになった。
- ⑥ ハンガーに掛けていたコートをもってきてくれた。

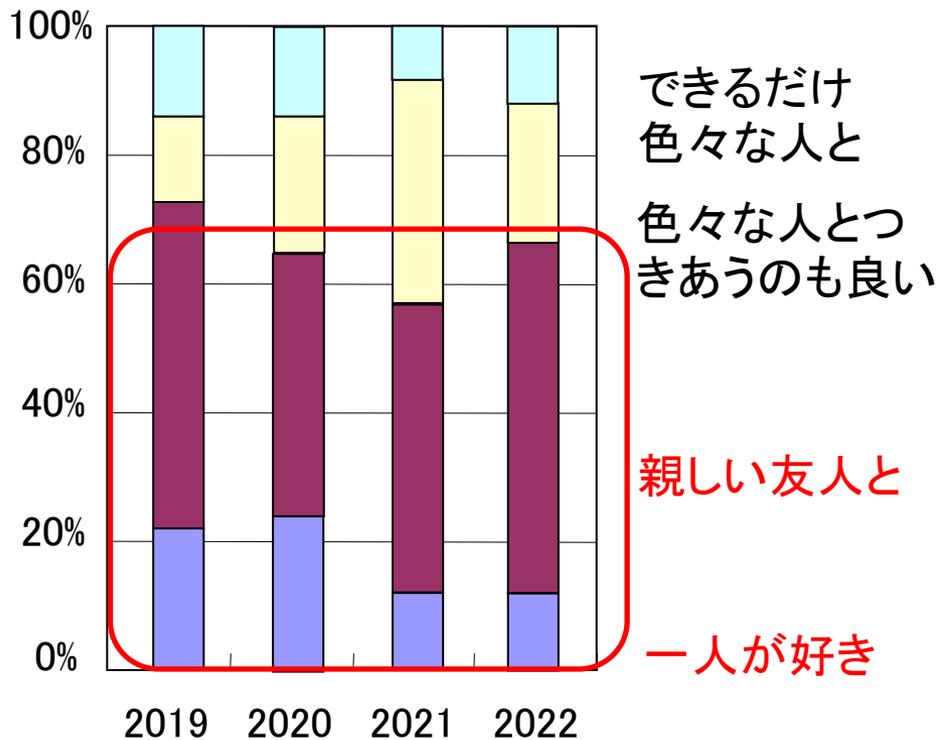
1. あなたが民間企業に勤務している場合
2. あなたが公務員の場合
3. あなたは公務員でゴルフはプロ級。スイングのアドバイスをし、感激したB氏はポケットマネーでコーヒー代を払った。
4. あなたは民間企業に勤務しており、製品の安全の鍵を握る部品の調達・検査を担当している

8人グループでの役割分担 (9:00~10:30の授業の場合)

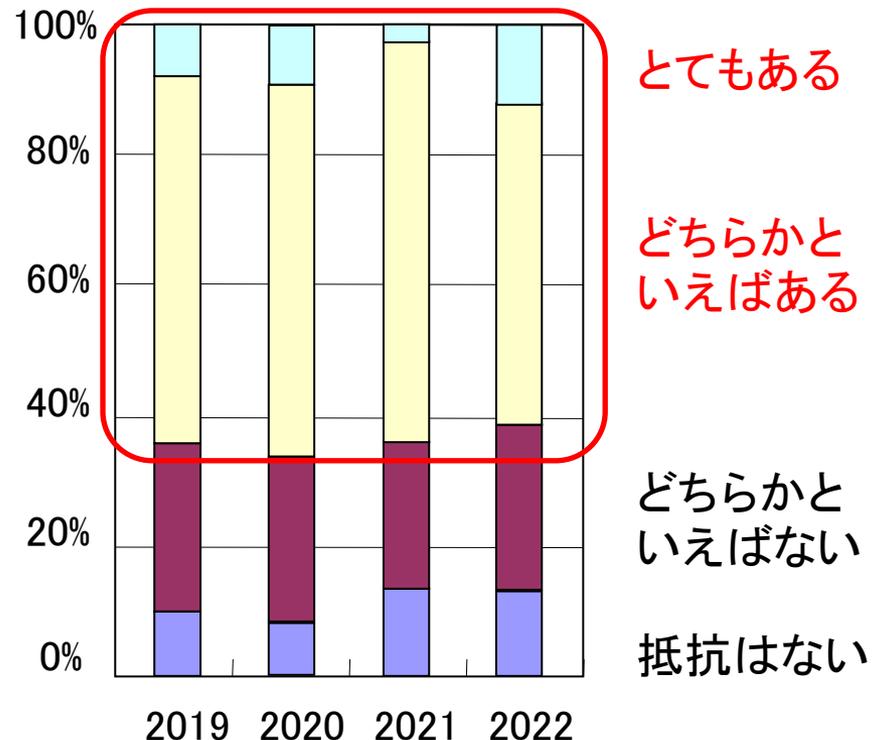
	グループ討論1 9:10~9:25	情報交換 9:25~9:35	グループ討論2 9:35~9:50	発表 9:50~10:25
司会者	司会(全員に発言をうながす)			—
タイム キーパー	時間管理			
出向者1	自班の討論内容をメモ	訪問先で自班の討論内容を説明	—	—
出向者2	—	訪問先の班の討論内容をメモ	訪問先の討論内容を自班で説明	—
説明者1	自班の討論内容をメモ	来訪者に自班の討論内容を説明	—	—
説明者2	—	来訪者からの情報をメモ	自班出向者に来訪者情報を説明	—
発表者1	発表用資料作成			発表
発表者2				

過半数は「他人と関わりたくない」「失敗したくない」

Q. 人づきあいについて



Q. 失敗することに抵抗は



関西大学化学生命工学部1回生に対する入学時のアンケート結果

失敗したくないんですが・・・

ダメです。失敗して下さい。

- 失敗しない人はいない
- 失敗したことがない人は社会で役に立たない
- 失敗したことがない＝失敗しない簡単なことしかできない
- **失敗を乗り越えたという経験値が重要**
- 「ごめんなさい」で済む学生の中に失敗の練習を

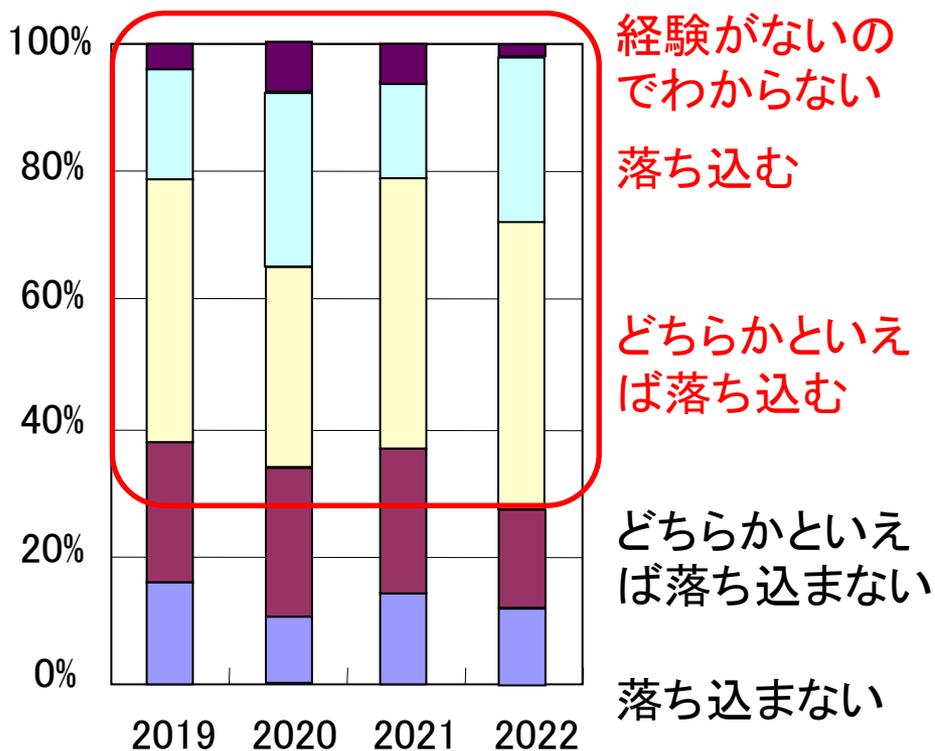
悪い失敗さえしなければよい

- ・ 前科がついてしまう失敗
- ・ 何も学べない(原因がわからない)失敗

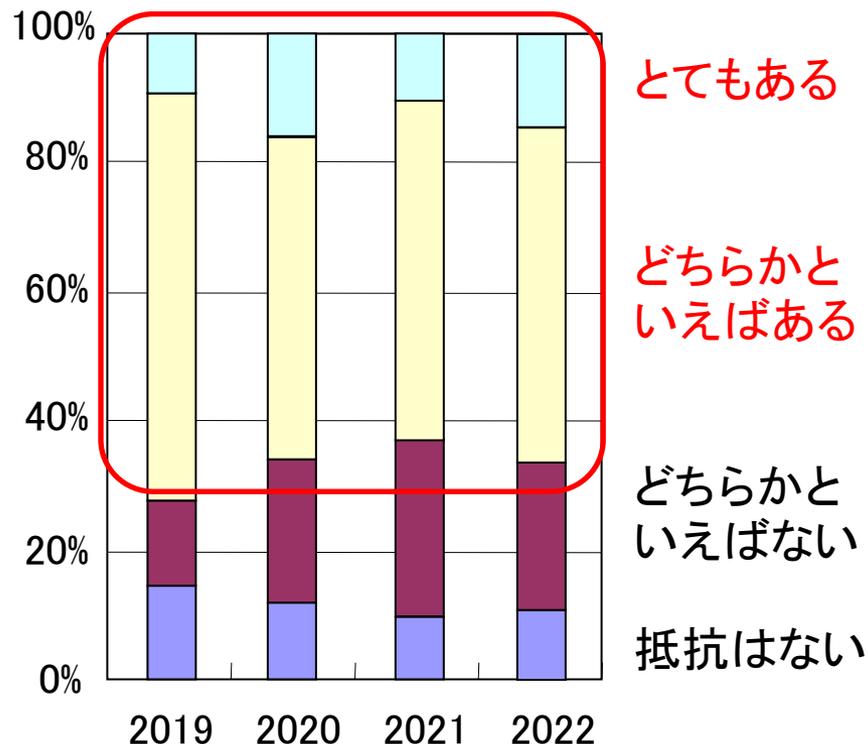
これ以外は全て「良い失敗」にすることができる

過半数は「間違えたくない」「言いたくない」

Q. 自分の意見が間違っている
(考えが浅い)ことを指摘され、
反論の余地がないとき



Q. さほど親しくない人に自分の
意見をはっきり言うことに
抵抗が



間違っているといやなので・・・

ダメです。間違えて恥をかいて下さい。

- 最初から間違いのない意見・考えを持っている人はいない。
- 誰しも最初の考えは浅く、見方も狭い。
- 間違えることよりも、自分の考えが進歩しないことを恐れよ。

様々な立場、考え方を知り、「批判してもらい、修正する」を繰り返して完成度を高める。